

他社の事例を知ることによって気づかなかった課題が見えてくる

Kouten Design Studio・野澤健さん

北海道滝川市で「Kouten Design Studio」を設立し、フリーランスのデザイナーとして活動する野澤健さん。東京のデザイン会社で13年勤務して独立後、2021年に生まれ育った滝川市に拠点を移しました。これまでの経緯や今後の人材活用について、お話をうかがいました。

■野澤さんのご経歴を教えてください。

北海道滝川市生まれです。北海道の大学でデザインを学び、東京のデザイン事務所で13年間、研鑽を積んだ後、独立しました。コロナ禍で東京オリンピックが延期になったのを区切りに、2021年に滝川市へUターンし、デザイン事務所「Kouten Design Studio」を設立。現在はフリーランスのデザイナーとして活動しています。滝川市は北海道の中心部に位置し、旭川にも札幌にもアクセスが良いですし、生まれ育ったまちですから土地勘があります。

■どのようなデザインを手掛けているのですか？

インテリアやプロダクトのデザインを中心に、家具メーカーなどの企業と契約してデザイナーとして商品開発・デザインを手掛けたり、店舗やオフィス等のインテリアデザインなどを行ったりしています。インテリアコーディネーターや設計関係者からの依頼で、造作家具や店舗什器などをデザインから製作手配・納品まで手掛けることもあります。また、一般のお客様からのオーダー家具等の依頼も承っています。

大学では空間デザインを専攻していたのですが、大学のあった旭川は全国でも有数の木工家具の産地であり、家具が身近にあった環境でした。なので、自然と空間だけではなく、家具も併せてデザインしたいと思い現在の活動に繋がっています。

■野澤さんは副業・兼業人材としても活躍されていますね

30代の後半で独立しそれなりの経験と時間を積んできましたが、全く知らない分野もたくさんあります。副業・兼業人材のプラットフォームに登録したのは、知らない土地や経験したことのない仕事とつながるきっかけ作りになると期待したからです。仕事を通じて、新しい企業や土地と出会えるのは、デザイナーの楽しみのひとつです。

副業人材と企業のマッチングは相性にもよるので、やってみないと分からないところがありますが、費用をかけずに試せるいいシステムだと思います。

■野澤さん自身が副業人材を活用するとしたら、どのような方が必要ですか？

プロジェクトのまとめやホームページ、SNS などでの PR などは、自分で出来る範囲ではやっていますが、不十分だと感じています。写真の撮影や編集、記事の投稿などを任せられる人がいればと思うことはあります。特に、出張があるとデスクワークが全く進まなくなるので、それを一歩でも進めてくれる方がいたらありがたいですね。

■地方の副業・兼業人材の活用についてどう思われますか？

滝川市の人口は、ほかのエリアと比較すると緩やかではありますが、減少の一途をたどっているのは間違いありません。外から人をよぶことも大事ですが、滝川市は旭川など周辺の都市と比べると観光で訪れる人も少ないです。また、小さな規模のまちで口コミで仕事が回ってしまうので、ホームページもないような企業が多く、外部への発信もほとんどしていないので、外部の人がなかなか入り込めないような雰囲気があるかもしれません。

多くの企業が毎月、お金を払って税理士と契約するように、月数万円でプロを雇えるメリットをもっと知ってほしいですね。

地方の企業からすると、副業人材とは何をしてくれる人なのか、どんな人材がいるのかが見えず導入しにくいので、まずは他社の成功事例を見て、自社でも導入してみるのが良いと思います。

【企業 HP】 <https://kouten.design/>